

チェーンソー編

前ハンドガード
(フューエルバー)

各部名称

リコイルスターター
(スターターハンドル)

進行方向



チェーンオイル
タンクキャップの
デブスゲージと

チンソー作業用 安全装備

- フェイスシールド
- ヘルメット

ーイヤーマフ
ージヤケット

チェンソーは
体に近づけて
持つ
(クラクラさせない)

防振手袋

ハンドルの
にぎるときは、
親指をしっかり
下にしてにぎる

防護スホン
もしくは
チャップス

防護フーツ

チェーンソーマンの現場道具



伐木チャンピオンシップ

ソーチェン着脱競技

ソーチン(刃)を交換する早さを
0.1秒単位で測定。

次の丸太合せ
輪切りと、
接地丸太輪切り
競技は、この
センサーで
行うため、早さだけでなく
正確さも重要です。

ヶがをすると減点。

丸太合せ
輪切り競技

傾けた丸太を垂直に
切る競技。
チェーンソーを下側→上側の
順で入れて切り合えます。

切断面の
断差が小さく、
垂直な程
高得点。

接地丸太
輪切り競技

地面に接地している丸太を
垂直に切る。

接地面が隠されて見えない中、
切り残し5mm以下をねらう。
地面を切ると一気に〇点に。

枝払い競技

6mの丸太に差し込まれた
30本の枝を素早く正確に
切り落とす。

上位は1本
1秒以内!

切り残しや丸太に傷がつくと減点対象に。

伐倒競技

直径30cm
高さ16mの丸太を
3分以内に目印の
方向へ倒す。

伐倒直後の
退避場所、
切り口も
採点対象。

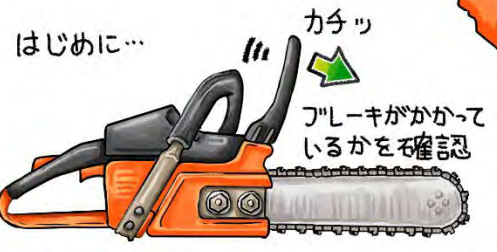
பெரிய

Diagram illustrating the relationship between the angle of the joint and the horizontal distance. A wedge-shaped piece of wood is shown with a horizontal distance labeled "水平さ" (Horizontal distance) and an angle labeled "受け口の角度" (Angle of the joint).

2年に1度開催される
日本伐木チャンピオンシップ
(通称JLC)の上位選手は
40年以上の歴史を持つ
世界大会(WLC)へ
出場できます。
かっこいい林業従事者を
皆で応援して
林業を
盛り上げよう!

チェーンソーの操作

エンジン始動

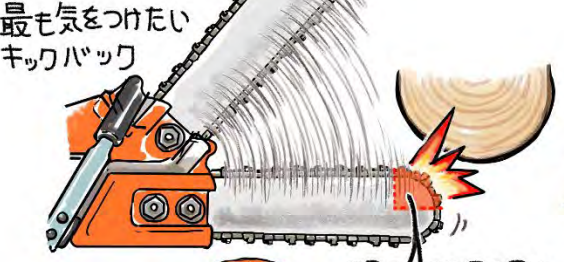


平らな地面がある時



右足と左手の2点で固定する。

玉切り



基本動作を徹底することで、事故のない作業を!

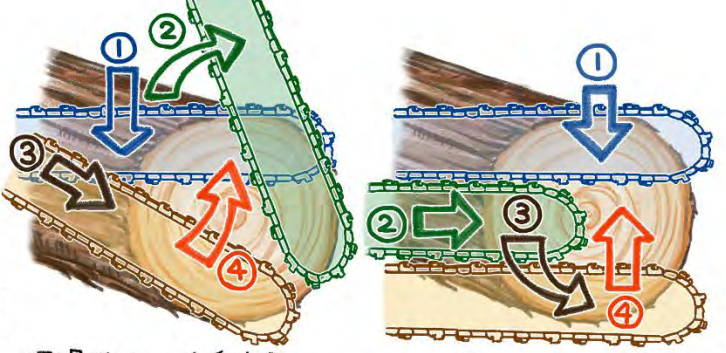
どうしても平らな地面がない時

後ハンドルを股下にしっかり挟み、前ハンドルを左手でにぎって、エンジン落として始動させる。2点で固定する。



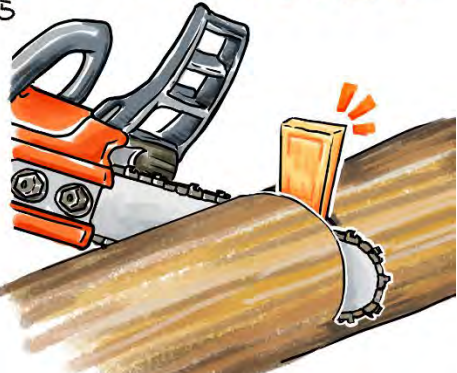
1点固定となるため、不安定になります。

切り方は丸太の状況にあわせて色々。



現場では、一方向から切ると、ほとんどの場合バーがはさまります。

バーがはさまったら必ずくさびを使いましょう。



伐倒

① 下準備

木を倒す方向を決めます。樹冠や傾き、曲がりといった、木の形状、風向きなどを考えて方向を決めます。



② 根張りの除去

受け口と追い口を作りやすいよう、伐倒方向と平行に根張りを切ります。



③ 受け口を作る

伐倒方向は、受け口の水平面の線で決まります。



④ 追い口を作る

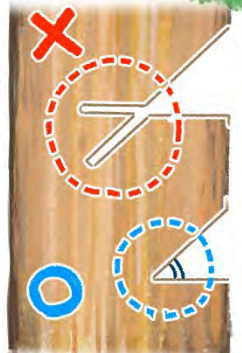
作業の前に、周囲の作業者に伐倒を知らせるよう、フエを鳴らす。

③の前に予備合図。
④の前に本合図。



⑤ くさびを打ち込み倒す。

受け口の切り終りは一致させます。角度は30°~45°にします。大きい程ゆっくり倒れます。慣れないうちは、少しずつ削って受け口を作りましょう。



倒れ終わったら、終了合図のフエを鳴らす。

チェーンソーの目立て

目立てはチェーンソーにとって、重要なメンテナンスです。やすりや補助器具を正しく使って、自分で目立てをし、そのチェーンソーで切ることで、もっと切れ易くしたいと技が上達します。

丸やすりの持ち方

ひじまでまっすぐに持つ

自分のグリップにある太さの柄を自作するとよい
必ずソーチェーンの大きさにあったやすりを使うこと！

左カッターの目立て

左手にグローブをつけて刃をあさえ固定する

まっすぐ

- やすりは押す時にたいけ力を入れる。
- 1つの刃にやすりをあてる回数は同じにする。
- やすりを正しい位置にあてて、上刃と横刃、上刃切削角度と刃の長さをそろえる。

デフスケージの調整

目立てを数回したら、デフスケージを調整する。

飛びだた部分をけする

デフスケージのかたに丸みをつける

この高低差(デフス)は、カンナでいう台と刃の差。やわらかい木を切る時はデフスに差をつけるとよい。固い木の時は差をつけすぎると刃がうく。

基本姿勢

右のひじは上げ下げしない

枝などをかませてチェーンが不用意に回転するのを防止

チェーンをさわる左手には手袋をはめる

右手の角度は変えないまま、左手でチェーンを回して刃を移動する。

小型携帯用刃等でバーを固定する。

右カッターの目立て

体がエンジン側にくるのでやりにくい。

やすり直径の1/3が上刃の上に出る

最近の刃には角度の目印がついている。

良い例 悪い例

均一 バラバラ

補助器具いろいろ

目立ての角度を決める補助器具も活用できます

丸やすりに直接かぶせて角度を調整するタイプ

ガイドバーに磁石でとりつけて、角度の目印にするタイプ

チェーンソーの刃は、木だけ切っていればそれ程悪くなりません。土や石、雪等を切ってしまうことで悪くなります。目立てと同じ、現場での扱いも大変重要です。

新人君、チェーンソー作業で特に気をつける2点を教えるわ！

はい!! お願いします。

ひとつめ キックバック!

ガイドバーの先端部上側の刃にふれた時にバーがはね上がる。

切断中の丸太の陰にある枝などに要注意よ!

ふたつめ かかり木処理

伐倒木が別の木にひっかかって不安定なまま倒れない。

伐倒作業で特に危険な状況よ。

もし、かかり木になってしまったら、早急に安全な作業方法で処理すること

かかり木アリ要注意

早い処理が無理な場合は、縄張りとして表示すること!

かかり木処理 禁止事項

あ、浴びせ倒し

元玉切り

かかられている木の伐倒

かかり木の担ぎ

かかられている木の枝切り

小径木の場合は、木回しやターニンクストラップ、ロープなどで無理な時は、けん引具やグラブ等を使って外します。

無理せず、熟練者にお願いするのでもいいわ!